

アイデイト錠 100mg 使用上の注意改訂のお知らせ

拝啓、時下益々ご清祥の段お慶び申し上げます。

平素は弊社製品に対し格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

この度、アイデイト錠 100mg の使用上の注意を下記のとおり自主改訂致しましたのでご連絡申し上げます。

今後のご使用に際しましては、新しい〔使用上の注意〕をご参照下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

◆「(9) その他の注意」の項を下記のとおり改訂致します。(下線部追加箇所)

改 訂 後	改 訂 前
<p>(9) その他の注意</p> <p>1) 使用中は摂水量を多くし、1日の尿量を2L以上とすることが望ましい。</p> <p>2) 外国における疫学調査報告で、本剤の投与により白内障があらわれたとの報告がある。</p> <p>3) 動物実験において、鉄剤と併用した場合に、本剤の大量投与により、肝の鉄貯蔵量が増加したとの報告がある。</p> <p>4) <u>漢民族(Han-Chinese)を対象としたレトロスペクティブな研究において、アロプリノールによる皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)及び中毒性表皮壊死症(Lyell症候群)等の重症薬疹発症例のHLA型を解析した結果、51例中全ての症例がHLA-B*5801保有者であったとの報告がある。また、別の研究では、アロプリノールにより皮膚粘膜眼症候群及び中毒性表皮壊死症を発症した日本人及びヨーロッパ人において、それぞれ10例中4例(40%)、27例中15例(55%)がHLA-B*5801保有者であったとの報告もある。なお、HLA-B*5801の保有率は漢民族では20-30%に対し、日本人及びヨーロッパ人では1-2%である。</u></p>	<p>(9) その他の注意</p> <p>1) 使用中は摂水量を多くし、1日の尿量を2L以上とすることが望ましい。</p> <p>2) 外国における疫学調査報告で、本剤の投与により白内障があらわれたとの報告がある。</p> <p>3) 動物実験において、鉄剤と併用した場合に、本剤の大量投与により、肝の鉄貯蔵量が増加したとの報告がある。</p> <p>【記載なし】</p>